

西 暦	年 号	昭 和 村 の 主 な て き ご と
		し栽培の指導に赴く。
1901年	明治34年	○野尻小学校が分校から独立する。
1902年	35年	○大洪水と凶作に見舞われた。 ○松山季節分教場が設置される。
1905年	38年	○大凶作，普通の年の4分の1の収穫であった。 ○下中津川と野尻に実業補習学校を設立する。このころ，私塾における夜学がさかんであった。
1907年	40年	○小中津川に水力の製糸工場ができる。
1911年	44年	○手まわし脱穀機が使い始められた。 ○養蚕が盛んになる。
1913年	大正2年	○大洪水に見舞われた。
1919年	8年	○養蚕の最盛期を迎える。
1923年	12年	○玉川水力電気KK送電開始，村内に電燈がついた。 ○このころ，自転車が使われている。
1927年	昭和2年	○野尻村，大芦村が合併し，昭和村が誕生した。村役場を下中津川字新屋敷に置く。 ○下中津川尋常小学校に高等科を設置する。翌年校舎が新築された。
1929年	4年	○喰丸・田島線県道となる。
1931年	6年	○冷害に見舞われる。
1933年	8年	○豪雪（12月～5月）に見舞われる。